



「写

真に興味を持ったきっかけは、小学校高学年の時、佐野駅前の内田カメラ店で母がカメラを買ってくれたから」という岡崎さん。

子どもの頃から好きだった写真を本格的に勉強しようと決意し、佐野市役所退職後、社会福祉協議会に勤務して2年目の平成27年、京都造形芸術大学（現京都芸術大学）通信教育部写真コースに入学。「仕事が終わってから夜行で京都に通ったが、だんだん体がきつくなり、退職して写真に専念、卒業まで5年かかりました」卒業制作展では、奨励賞を受賞されました。

京都造形芸術大学を選んだ理由を尋ねると、通信制で写真専門コースがあったのは唯一この大学で、通信教育専用のキャンパスが東京にあり京都以外でもスクーリングの受講が可能だったからだそうです。

「毎月のスクーリングに佐野から通うのは大変でしたが、京都で気の合う仲間もでき、次第に行くのが楽しみになり、卒業を間近に控えた頃になると、卒業できる喜び

人生100年、相棒はカメラ

もさることながら、京都キャンパスにもう通わなくなることが名残り惜しくなり、卒業してしまうのがもったいないとすら思った」と話します。

卒業後、これまでに3回の写真展を開催。1、2回目は足利市徳蔵寺の五百羅漢像をモチーフに、3回目は5月に「SANO ASHIMURA街の記録」と題し、昨年1年かけて佐野と足利の街歩きをして、撮りためた作品の中から24点を展示。ずっと暮らしてきた佐野の街を、カメラを通して改めて直し、記録したいとテーマを選びました。「撮影する時間によって被写体が変わってくるので、差し込む光と自分の感性が合致した時にシャッターを切ることを心掛けた」と言います。

岡崎さんの写真には、人物は一人も写っていませんが、その壁の向こうに人がいるかのような息遣いを感じさせてくれます。次回の個展は、10月に東京都の東銀座で開催を予定しているそうです。

（市民記者 永倉文子）

キラリ話題の人

岡崎 稔 さん

佐野市役所退職後、社会福祉協議会勤務。京都造形芸術大学通信教育部美術科写真コース卒業。卒業制作展で奨励賞受賞



▲ 2024年の写真展のはがき

ようこそ 市長室からこんにちは！



佐野市長
金子 裕

6月議会も終わり、気付けば7月です。7月といえば、7日は七夕です。織姫さまと彦星さまが天の川を渡って、一年に一度だけ出会う夜が七夕ですが、その天の川がよく見える地として、作原町の作原自然環境保全地域が選ばれました。これは、環境省による2023年度冬の「デジタルカメラによる夜空の明るさ調査」において、天の川がよく見える夜空の環境を保持している地域に選ばれたもので、「夜空の明るさ」等級は県内で一番でした。

本市は、高速交通の利便性もよく、首都圏の皆さまが日帰りで訪れることが多い状況です。また、宿泊施設についても、ビジネスホテルが多く、観光目的の宿泊施設がまだまだ少ないのが現状です。そうした中で、宿泊につながる取り組みが必要だと感じ、昨年度は、出流原

弁天池・磯山弁財天や唐沢山城跡・唐澤山神社においてライトアップイベントを開催し、大変好評を得ました。

この作原のきれいな星空も地元の方からすれば日常ですが、星がほとんど見えない都会に住んでいる方からすれば、感動につながる非日常体験となります。こうした「奥佐野」などの元からある資源を活用し、観光につなげていく取り組みを進めるとともに、この美しい星空をしっかりと守る取り組みも行っていきたいと思っています。

今月から市内20地区を5回に分けて実施する、市政懇談会が始まります。本市の広聴事業として広く市民の皆さまのご意見をお伺いしたいと考えておりますので、たくさんのご参加をお待ちしております。



多くの人でにぎわいました 野上物産市が開催されました

5月4日(土)、五月晴れの中「第九回野上物産市」が白岩農村公園・オカリナの里を会場に開催されました。

この物産市は、近隣の直売所や住民の協力で恒例となっているとのこと。当日は新鮮な野菜が並び、来場者の方たちは手に取って吟味して買い物を楽しんでいました。

模擬店では、焼きそば、豚汁、餅、ピザ、マスの塩焼き、炊き込みご飯などたくさん準備されていました。お昼ごろには、多くの方でにぎわい、皆さんのお腹を満たしていたようです。

アトラクションのよさこい踊りでは、元気をもらい、地元消防団の皆さんによる消火栓ホースでの放水訓練では、参加した子どもたちが、将来の消防士さんながらにホースを持って走ったり、肩に担いで放水の手助けを嬉しそうに体験したりしていたのが印象的でした。

(市民記者 葛貫郁子)



高校生消防団員も訓練初参加！ 消火技術確認会

6月2日(日)KONOIKEグリーンフィールドにおいて佐野市消防団による消火技術確認会が実施されました。

消火技術確認会は、多様化する災害対応で必要となる知識の習得と消火技術の向上を目的に訓練形式で毎年行われています。

今年度は、より実践的な訓練を要望する団員の意見を踏まえ、新たにロープワーク訓練を取り入れ、土のうの扱いを学ぶ水防訓練や消火訓練などが実施されました。

梅雨時期や台風シーズンにおいて、大雨による河川の増水や土砂災害が危惧されますので、皆さんも十分注意をお願いします。



ヨガ マホトサブ YOGA MAHOTSAV in SANO

6月8日(土)、佐野市国際クリケット場においてヨガイベントが開催されました。

「MAHOTSAV」は、ヒンディー語で「祭り」を意味します。イベントでは、第10回国際ヨガデーを記念して、駐日インド大使館のヨガインストラクターをお招きし、クリケット場の広い天然芝の上で、約200人の参加者が一斉に本格的なヨガを楽しんでいました。

参加者には記念ヨガTシャツが配られたほか、会場にはキッチンカーも出店し、多くの来場者でにぎわいを見せていました。